

高知地学研究会20年

高知地学研究会会長 南 寿宏

高知地学研究会を、紙芝居方式で振り返ります。本稿は、2015総会の発表原稿の一部です。

設立趣意

- ・人類と地球環境の調和による地球環境の保護
- ・地学危機の脱却
- ・地学教育縮小対応
- ・地震、台風等による自然災害防止
(南海地震は2038年(尾池))
- ・そして楽しい時間を過ごしましょう

実に格調高い。かっこいいよ、神一屋！

本会の目的

- ・地学の進歩と普及を目指す
- ・会員相互の連絡を図る

本会の活動

- ・総会・講演会
- ・地学巡検
- ・会報
- ・執筆出版
- ・普及促進

実現できているかどうかは、第三者の厳しい目にゆだねたいと思います。

地学巡検

- ・年に1～2回(3回のときもあった)
- ・1回は日帰り、1回は1泊
- ・県内外の地質名所訪問
- ・各地の地学団体との交流を図る
- ・各地のガイドの案内を受ける
- ・未踏の地にこだわらない

いろいろな所に行きたいですね。

未踏の地にこだわらない

- 有名な地点は会発足当初に踏破
- 巡検地が限られ、より専門的、マニアックになる
- メンバーは毎年入れ替わる
- 新しいメンバーが過去の巡検地に行ける
- 巡検後、新研究・発見がなされる
- ジオパーク指定等でガイド活動が充実する

希望をおっしゃってください。

今までの巡検地



今まで、こういうところに行きました。

徳島県大歩危峡の結晶片岩



ここへは行けなかったなあ、私は。

これからの高知地学研究会

- 新しいメンバーの勧誘（若い力の導入）
- 外部団体との交流
（県内外のジオパーク）
（県外の地学愛好団体）
- 海外巡検
- 新規事業の参画

これからも一緒に楽しみましょう。

吉倉エレキテル連合に乾杯！



発表当時流行のフレーズで、時の移ろいを感じますが、どうぞよろしく。